

別紙1 【幸福感を育む環境要素】(世代別幸福感・ニーズ別暮らしやすさ感)【未定稿①】

場面 年代(歳)	 喜び・楽しさ ワフワクする(W) 滝沢市	 成長・学び イキイキする(I) 滝沢市	 生活環境 サワヤカ(S) 滝沢市	 安全・安心 ホッとする(H) 滝沢市	 人とのふれあい 絆の滝沢市
すこやか世代 0 ~ 5	みんなが笑顔で接してくれること ・子どもが病気やけががなく健康であること ・子どもと親が笑顔で過ごせていること ・(子どもに)みんなが笑顔で接してくれること	子どもに良い食習慣が身に付いていること ・子どもが健やかに成長する機会に恵まれていること ・親などが子どもの成長を育む体験や学習機会を与えること ・子どもに良い食習慣が身に付いていること	子どもが身近に体を動かして遊べる機会があること ・地域に子育て世代の親子が集まれる場所があること ・滝沢市の安全な食べ物を地域で手に入れることができること ・子どもが身近に体を動かして遊べる機会があること	親以外に、世話をしてくれる人がいることが多いこと ・かかりつけの病院や相談先が近くにあること ・親が子どもの病気やケガなどの際に迷わず対応できること ・親以外に、世話をしてくれる人がいること	・家庭内で子育ての会話が明るく弾むこと ・身近所が子育て世代に理解があること ・子育て世代のふれあいが活発であること ・家庭内で子育ての会話が明るく弾むこと
学び・成長世代 6 ~ 17	楽しい学校生活を過ごせていること ・興味を持って熱中して取り組める学校生活が営まれていること ・親子の家庭内のふれあいの機会が多いこと ・楽しい学校生活を過ごせていること	夢中になって取り組めることがあること ・学校やクラブで、子どもたちの個性を引き出して活躍する機会があること ・スポーツや文化・芸術に親しむ機会に恵まれていること ・夢中になって取り組めることがあること	地域の人たちに見守られていること ・地域の自然・歴史・文化にふれ、郷土愛が芽生える機会に恵まれていること ・地域に子どもの興味を引き出す専門知識を持った人がいること ・地域の人たちに見守られていること	悩みを相談できる相手や機会を持っていること ・安心して登下校ができること ・放課後安心して過ごせる場所があること ・悩みを相談できる相手や機会を持っていること	・家庭・学校・地域が子どもを育てるために連携していること ・学校で多くの友人に出会い、関係が良好であること ・異なる世代の友人と出会う機会があること ・家庭・学校・地域が子どもを育てるために連携していること
自立世代 18 ~ 34	多くの人のふれあいの機会があり、人間関係が良好であること ・家庭内で、家事や育児などの役割分担ができていくこと ・異性の交流機会があること ・多くの人のふれあいの機会があり、人間関係が良好であること	身に着けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があること ・自分の知識や能力を発揮できる職につけること ・仕事以外に、趣味やスポーツに興味を持っている機会があること ・身に着けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があること	地域の方々と交流の機会があること ・勉強・スポーツ・芸術活動など同じ目的を持った人との交流機会があること ・自分が欲しい情報が必要な時に得られること ・地域の方々と交流の機会があること	子育てに関わる集まりに参加できる機会が多いこと ・企業や学校などが連携した進学・就職支援が整っていること ・夜間でも安心して外出できること ・子育てに関わる集まりに参加できる機会が多いこと	・仕事以外の同世代の交流があること ・自治会行事など、地域に無理なく参加できる機会に恵まれていること ・学校や職場の人間関係が良好であること
子育て世代 35 ~ 49	子どもたちの成長を確認できること ・仕事以外に地域で趣味や活動に参加できる機会が多いこと ・週末や休みに家族で楽しめる場が充実していること ・子どもたちの成長を確認できること	情報時代に適したモラル、スキルを学び、活かす機会があること ・キャリアアップの機会に恵まれていること ・自己啓発する機会に恵まれていること ・情報時代に適したモラル、スキルを学び、活かす機会があること	子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること ・同世代が集う機会があること ・地域の様々な活動を知る機会が多いこと ・子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること	安定した生活を送るための、家族の支え合いがあること ・仕事に就いていること ・子どもの教育について家庭と学校が連携できていること ・安定した生活を送るための、家族の支え合いがあること	・親と子どもの関係が良好であること ・職場の上司や部下などの人間関係が良好であること ・地域に子育て世代の仲の良い友だちがいること ・親と子どもの関係が良好であること
充実世代 50 ~ 64	世代を越えて交流する機会があること ・子どもや孫の成長をみられること ・仕事以外に地域で趣味やスポーツを楽しむ機会に恵まれていること ・世代を越えて交流する機会があること	自ら学び、趣味や地域活動に積極的に取り組める機会があること ・やりがいのある仕事を続けられていること ・地域活動やボランティア活動に参加できる機会に恵まれていること ・自ら学び、趣味や地域活動に積極的に取り組める機会があること	豊かな自然を活かして、リフレッシュできること ・地域の人たちと協力し合えること ・健康増進につながる地域の行事・集まりがあること ・豊かな自然を活かして、リフレッシュできること	老後の生活設計が描けること ・地域のコミュニティの中で心身ともに元気で生活が営まれていること ・親の介護などについての相談先を知っている又は相談相手がいること ・老後の生活設計が描けること	・地域づくりなどに無理なく参加できる機会があること ・地域づくりの役割があること ・趣味を共に楽しめる仲間がいること ・地域づくりなどに無理なく参加できる機会があること
円熟世代 65 ~	心身ともに元気になる趣味や活動を通して、地域に役立つ機会があること ・子どもや孫が自立した生活をおくってくれること ・健康で、おいしく食べられ長生きをすること ・心身ともに元気になる趣味や活動を通して、地域に役立つ機会があること	地域の伝統・文化や芸能など、次世代に継承できる機会があること ・生涯学習が続けられる機会に恵まれていること ・地域の伝統・文化や芸能などにふれる機会があること ・地域の伝統・文化や芸能など、次世代に継承できる機会があること	豊かな自然とふれあいが、健康増進につながる機会があること ・地域内で自立した日常生活がおくれること ・近所が緑に恵まれていること ・豊かな自然とふれあいが、健康増進が図られる機会があること	いざという時にも、助け合える繋がりがあること ・経済的に不安のない生活がおくれること ・日常の買い物など、外出が円滑に行えること ・いざという時にも、助け合える繋がりがあること	・高齢者を地域の中で支え合う仕組みが整っていること ・高齢者が子ども・若者とふれ合う機会があること ・高齢者同士が気軽に集い、顔を合わせる場があること ・高齢者を地域の中で支え合う仕組みが整っていること
全世代	世界や全国で活躍する人材を育む滝沢市であること	チャグチャグ馬コが受け継がれていること	岩手山麓に広がる豊かな自然が守られていること	滝沢市の暮らしに安心感と愛着があること	・市民が互いに支え合いながら、幸せを実感して暮らせること
(共通) 暮らしの基礎的ニーズ	・人々が集まり、活動できる「場」がある ・世代間で交流がある ・地域間で交流がある ・同じ目的を持った人々との交流がある ・必要な情報がわかりやすく伝わる	・子ども達が生き生きとしている ・地域と学校との間で交流がある ・自ら学び、取り組める環境がある ※子ども達の体力・学力が向上する ※スポーツに親しむ機会がある ・文化と伝統が受け継がれている ※文化・芸術に親しむ機会がある ※滝沢市の歴史を学べる機会がある	・交通安全が保たれている ・急病の時に病院にいきやすい ・川の水や空気がきれいである ・自然環境に配慮する取組みが行われている ・豊かな自然がたくさん残されている	・家族がお互いに支えあっている ・ボランティアやNPOが情報交換する場がある ・隣近所との付き合いがある ・村に犯罪がない ・地域に安心できる防災の仕組みがある ・地域の中に支えあう仕組みがある ・心身ともに元気で暮らせる ・老後も安心して暮らせる ・子ども達が安心して暮らせる ・安心して子育てができる ・働く場がある ・農業の担い手がいる ・子育てしながらでも安心して働くことができる	
(共通) 暮らしの利便性・快適性ニーズ	・地域や世代を超えて市全体がつながっている ・同じ目的を持った人々が集まり活躍している ・必要な時に欲しい情報が得られる ※様々な団体の情報交換の場がある	・自分の夢の実現のために取り組むことができる ※趣味やスポーツなどを指導できる専門家がいる ・文化、伝統が活かされている ・チャグチャグ馬コの知名度が活かされている	・交通の便がよく、移動がしやすい ・ずっと住みたいと思える滝沢市である ・自然とふれあえる環境がある	・家族と一緒にいられる ・ボランティア活動が活発である ・みんなで地域の夢の実現のために取り組むことができる ・高齢者が自ら率先して活躍している ・一人ひとりの個性が尊重されている ※健康でおいしい食事ができる ※健康や介護を学べる場がある ※かかりつけの病院がある ※放課後の子どもの居場所がある ・みんなが自分のやりがい仕事ができる ・村で作られた農産物が、広く販売されている ・村の特色を活かした産業がある ・地場産品を販売する場所がある	
ニーズ	集う(喜び・楽しさ)	学ぶ・受継ぐ(成長・学び)	暮らす・活かす(生活環境)	支えあう・輝く・働く(安全・安心)	
暮らしの理念					

別紙2 【幸福実感一覧表】(滝沢市で幸せに暮らすためのチャレンジ一覧)【未定稿②】

場面 年代(歳)	 喜び・楽しさ ワクワクする(W) 滝沢市	 成長・学び イキイキする(I) 滝沢市	 生活環境 サワヤカ(S) 滝沢市	 安全・安心 ホッとする(H) 滝沢市	 人とのふれあい 絆の滝沢市
すこやか世代 (子ども) みんなが笑顔で接していること	ワクワクする(W) 滝沢市	イキイキする(I) 滝沢市	サワヤカ(S) 滝沢市	ホッとする(H) 滝沢市	絆の滝沢市
象徴指標	子どもと一緒に過ごす時間(1週間)	家族一緒に食事をする回数(1週間)	子どもが屋外で過ごす日数(1週間)	子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合	・家庭内で子育ての会話が明るく弾むこと
0 ~ 5 やってみよう 	親などが、子どもに読み聞かせをする 親などが、1日1回子どもを抱きしめる 大人は、子どもの目の高さで、笑顔で話しかける	親などが、季節の食材を取り入れて食事をつくる 家族一緒に笑顔で食事をする 家族が、家庭菜園に挑戦し、子どもと一緒に収穫する	親などが、子どもと一緒に屋外で過ごす時間をつくる 親などが、子育て世代が気軽に集まれる機会を地域でつくる 大人が公園などで子どもが安全に遊ぶように気を配る	親などが、子どもと一緒に、近所の人との挨拶を大切に 親などが、子育てを支援する「ファミリーサポートセンター」や「子育て支援センター」を利用する 大人が子どもが気軽に行き来できるような近所づきあいを心掛ける	26年度検討
学び・成長世代 (子どもが) 楽しい学校生活を過ごしていること	(子どもが) 夢中になって取り組めることがあること	(子どもが) 夢中になって取り組めることがあること	地域の人たちに(子どもが)見守られていること	(子どもが) 悩みを相談できる相手や機会を持っていること	・家庭・学校・地域が子どもを育てるために連携していること
象徴指標	(子ども) 仲の良い友だちの数	(子どもが) 夢中になって取り組めることがあること	(子どもが) 安全に通学できている人の割合	(子どもが) 悩みを相談できる相手や機会がある割合	
6 ~ 17 やってみよう 	(子どもが) その日の出来事を夕飯の時に家族に話す 親などは、子どもの友だちの名前を覚える (子どもが) 子ども会や育成会の行事に参加する	(子ども) の努力を家族が応援してくれる 運動会や学習発表会、文化祭には、家族みんなが見に行く (子どもが) 取り組んでいることを発表や披露する機会が地域や身近にある。	(子どもが) 毎朝、スクールガードの皆さんに挨拶をする (子どもが) 地域のお祭りや行事へ参加する 地域の方々や廃品回収などの子どもたちの活動に協力する	(子どもが) 近所の友だちと遊ぶ (子どもが) 友だちと一緒に通学する 親などが子どもの悩みを知る・学ぶ機会を地域で設ける	26年度検討
自立世代 多くの人とのふれあいの機会があり、人間関係が良好であること	身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があること	身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があること	地域の方々や交流の機会があること	子育てに関わる集まりに参加できる機会が多いこと	・学校や職場の人間関係が良好であること
象徴指標	多くの人とのふれあいの機会があり、人間関係が良好である割合	身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会がある人の割合	地域のお祭りや行事に参加した回数	保育園、幼稚園、小学校などの行事へ参加の有無	
18 ~ 34 やってみよう 	相手を気遣う気持ちを持つ 時間を上手く使い、自分が自由に使える時間を確保する 近所に、いつでも気軽に集える場所を探す・つくる	学校や職場などで、身に付けた知識や技術を積み重ねる 学校や職場などで、身に付けた知識や技術を生活に活かす 学校や仕事などで、身に付けた知識や技術を地域に役立てる	広報紙、回覧板を必ず見る 地域の方に挨拶をし、地域の方の名前と顔を覚える 地域のお祭りやサークルなどに参加する	乳幼児に関する検診、予防接種を必ず受診する 保育園や幼稚園の行事に積極的に参加する 両親学級、母親教室、親子で参加できるイベントなどに積極的に参加する	26年度検討
子育て世代 子どもたちの成長を確認できること	情報時代に適応したモラル、スキルを学び、活かす機会があること	子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること	子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること	安定した生活を送るための、家族の支え合いがあること	・親と子どもの関係が良好であること
象徴指標	子どもとの会話の時間(1週間)	広報やインターネット等で、地域の情報を収集・発信している人の割合	参加したいと思える地域行事の数	家族の支えのおかげで仕事に専念できていると感じる人の割合	
35 ~ 49 やってみよう 	毎日、子どもと会話をする 子どもと一緒に買い物に行く 小中学校の行事に積極的に参加する	子どもにパソコンを教える インターネット等(パソコン、スマートフォンなど)を使って地域の情報などを発信してみる 地域の情報をインターネット等により互いに共有しあう	自然を通して子どもたちと過ごす機会(キャンプ・スキー・散歩など)を持つ 近所の子どもと顔見知りになる PTAや子ども会などに積極的に関わる	家庭内で家事を分担する 育児について相談・助言してくれる相手を持つ 子どもが安心して過ごせる場を持つ	26年度検討
充実世代 世代を越えて交流する機会があること	自ら学び、趣味や地域活動に積極的に取り組める機会があること	豊かな自然を活かして、リフレッシュできること	豊かな自然を活かして、リフレッシュできること	老後の生活設計が描けること	・地域づくりなどに無理なく参加できる機会があること
象徴指標	地域活動に参加する人の割合	自分の趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合	定期的に自然と親しむ機会を持っている人の割合	老後の生活設計に不安がない人の割合	
50 ~ 64 やってみよう 	スクールガードに参加する 自治会活動など地域活動に参加する 子ども会などを支援し、地域の子どもたちに顔を覚えてもらう	新しく自分のやりたいことを知る 自分の趣味や特技と一緒にできる仲間を持つ 自分の趣味や特技を活かして地域の役に立つ	リフレッシュのために、家庭菜園などに取組む 自分の散歩コースを複数持つ 仲間と滝沢市の自然に融合できる機会を持つ	退職後の社会保障制度を学ぶ機会に参加する 退職前後、積極的に近所の方々顔を覚え、挨拶をする 地域の健康づくり教室に参加し、健康づくりに気を配る	26年度検討
円熟世代 心身ともに元気になれる趣味や活動を通して、地域に役立つ機会があること	地域に役に立つ機会を持っていると感じている人の割合	地域の伝統・文化や芸能など、次世代に継承できる機会があること	豊かな自然とふれあいながら、健康増進が図られる機会があること	いざという時にも、助け合える繋がりがあること	・高齢者を地域の中で支え合う仕組みが整っていること
象徴指標	地域に役に立つ機会を持っていると感じている人の割合	地域の伝統・文化や芸能などに親しむ機会があると感じる人の割合	自分の散歩コースを持っている人の割合	いざという時に、頼れる相手がいる人の割合	
65 ~ やってみよう 	睦大学に参加する 老人クラブやいきいきサロン等に参加する 自治会活動など地域活動に積極的に参加する	地域の伝統・文化を鑑賞する機会を持つ 地域の伝統・文化の保存団体等に参加する 地域の子どもたちに伝統・文化を教える機会を持つ	日々家の回りの美化・清掃に取組む 地域で開催される健康教室に参加する 自然にふれあえる散歩コースを地域で決めてみる	緊急時の連絡先を分るところに掲示しておく(救急医療情報キットなど) 地域が、ひとり暮らしの世帯を把握している 地域の自主防災組織が行う防災訓練に参加する	26年度検討
全世代 世界や全国で活躍する人材を育てる滝沢市であること	チャグチャグ馬コが受け継がれていること	岩手山麓に広がる豊かな自然が守られていること	岩手山麓に広がる豊かな自然が守られていること	滝沢市の暮らしに安心感と愛着があること	・市民が互いに支え合いながら、幸せを実感して暮らせること
象徴指標	(26年度精査) 全国大会への出場者数	(26年度精査) チャグチャグ馬コの滝沢市からの参加馬数	(26年度精査) 地域清掃活動への参加者数	(26年度精査) 滝沢市に愛着がある市民の割合	滝沢市で幸せに暮らしている人の割合
やってみよう 	滝沢市で開催される各種大会等へ見物に行く 滝沢市民が出場する各種大会等へ応援に行く 市民体育祭などに参加する	チャグチャグ馬コの由来を知る チャグチャグ馬コを県内外の知り合いに紹介する チャグチャグ馬コに参加する	ゴミを出す量を少なくする 地域の清掃活動に参加する 自然を守るサークルなどに参加する	滝沢スイカなど、農産物を食べる チャグチャグ馬コを家族と見る 滝沢市に住み続ける	26年度検討

別紙3 【暮らしやすさ一覧表】めざそう値の改定検討一覧表【未定稿③】

第5次総合計画 最適化条件		第5次総合計画 代表指標		現状値	めざそう 値 (5年後)	めざそう 値 (10年 後)	平成24 年度値	次期総計 理念	次期総合計画 新最適化条件	次期総合計画 新代表指標	変更理由	
輝く	1 心身ともに元気で暮らせる	自分が心身ともに元気と感じている人の割合	56.3%	60.0%	65.0%	59.1%		輝く	同左	同左		1
	2 老後の不安なく暮らせる	老後が不安なく暮らせると感じている人の割合			15.0%	12.1%			同左	同左		2
	3 子ども達が不安なく過ごせる	子どもたちが不安なく過ごせると感じている人の割合			40.0%	37.4%			同左	同左		3
	4 一人ひとりの個性が尊重されている	男女の平等観	16.0%	21.0%	50.0%	41.9%		学ぶ	同左	※障がい者の社会参加に関する指標を検討する。	男女の平等感福祉分野に当てはまらない	4
	5 自ら学んだり、取り組める環境がある	村が実施する趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合	21.0%	30.0%	40.0%	19.8%			同左	趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合	趣味の教室などは、民間を含め幅広いことから「村が実施する」を削除。	5
	6 高齢者が自ら率先して活躍している	シルバー人材センター加入率(60歳以上人口1,000人あたり)	7.5人	10人	20人	18.9人		輝く	同左	同左		6
	7 子ども達が生き生きとしている	不登校児童・生徒の割合(児童生徒数1,000人あたり)	15.1人	10人	10人	9.4人		学ぶ	同左	児童生徒の1年間無欠席者数	不登校児童数等は、「生き生き」にそぐわない。	7
	8 自分の夢の実現のために取り組むことができる	生きがいをもって生活している人の割合	67.7%	70.0%	75.0%	68.7%			同左	夢を持って生活している人の割合	「生きがい」を持つ前提で「夢」が必要ではないかという議論から。	8
	9 みんなで地域の夢の実現のために取り組むことができる	まちづくり委員会の参加(委員)数	310人	350人	400人	997人		支える	同左	自治会活動に参加している人の割合	まちづくり委員会では、地域活動を表わし切れないことから。	9
							輝く	高齢者になっても健康でおいしく食事ができる	美味しく食事ができていると感じている人の割合	市民の幸福一覧作成時に意見としていただいた内容	10	
								健康や介護を学べる「場」がある	健康教室参加者数	市民の幸福一覧作成時に意見としていただいた内容	11	
								かかりつけの病院がある	かかりつけ医を持っている人の割合	市民の幸福一覧作成時に意見としていただいた内容	12	
								放課後の子どもの居場所がある	放課後の子どもの居場所があると感じている人の割合	市民の幸福一覧作成時に意見としていただいた内容	13	
							学ぶ	子どもたちの体力・学力が向上する	小中学生の体力測定の数・学力テストの数	保護者の重要な関心事であることから追加	14	
						趣味やスポーツなどを指導できる専門家がいる		人材バンク登録者数	市民の幸福一覧作成時に意見としていただいた内容	15		
交わり	10 隣り近所とのつきあいがある	隣り近所とのつきあいがある人の割合	48.6%	50.0%	70.0%	62.8%	支える	同左	同左		16	
	11 必要な情報がわかりやすく伝わる	広報たきざわを読んでいる人の割合	83.5%	85.0%	90.0%	83.1%		集う	同左	同左		17
	12 家族と一緒にいられる	家族と一緒にいられる時間	4時間41分	4時間50分	5時間	5時間10分			同左	同左		18
	13 同じ目的を持った人との交流がある	趣味のサークル活動など共通の目的を持った人と交流している人の割合	40.0%	45.0%	55.0%	41.4%	同左		同左		19	
	14 世代間での交流がある	ここ1年で年代の違う人と交流を持った割合	57.9%	60.0%	65.0%	61.7%	同左		同左		20	
	15 地域間での交流がある	ここ1年で地域活動に参加したことのある割合	37.2%	42.0%	50.0%	38.6%	同左	同左	ここ1年で地域活動(自治会活動・子ども会・PTAなど)に参加したことのある人の割合	No.9との差別化をはかる為に説明を追記	21	
	16 地域と学校との間で交流がある	子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携が十分だと感じている人の割合	30.3%	40.0%	45.0%	37.2%	学ぶ	同左	同左		22	
	17 必要な時に欲しい情報が得られる	普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合	50.1%	55.0%	60.0%	49.7%		同左	同左		23	
	18 人々が集まり活動できる場所がある	人々が集まり活動できる場所があると感じている人の割合	64.2%	66.0%	70.0%	62.8%	集う	同左	人々が集まり活動できる「場」がある	「場所」から「場」へ変更し、「機会」の意味を加えた。	24	
19 地域や世代を超えて村全体がつながっている	村民体育祭・スポーツフェスティバルの参加者数及び屋内体育施設の利用者数(人)			174,000人	185,042人	同左		同左	市民体育祭参加者数	つながっているに相応しいことから、「屋内体育施設利用者数」を削除。	25	
						集う	様々な団体の情報交換の「場」がある	村政懇談会参加者数	村政懇談会を地域の情報交換の場とするために追加	26		
支えあう	20 地域に安心できる防災の仕組みがある	自主防災組織設置数	2団体	10団体	27団体	25団体	支える	同左	自主防災組織訓練参加者数	自主防災組織の設置数が概ね全域となったことから。	27	
	21 家族がお互いに支えあっている	1日あたりの家事労働時間の男女差	2時間27分	2時間10分	2時間	1時間54分		同左	同左		28	
	22 ボランティア活動が活発である	ここ1年でボランティア活動に参加した人の割合			40.0%	17.8%		同左	同左		29	
	23 ボランティアやNPOが情報交換する場がある	滝沢村のボランティア登録団体数	45団体	50団体	60団体	47団体		同左	同左		30	
	24 地域の中に支え合う仕組みがある	滝沢村はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる村だと思っている人の割合	32.4%	40.0%	50.0%	38.0%		同左	同左		31	
25 同じ目的を持った人々が集まり活躍している	NPO法人設立数	4団体	8団体	12団体	11団体	集う	同左	同左		32		

第5次総合計画 最適化条件		第5次総合計画 代表指標				現状値	めざそう 値 (5年後)	めざそう 値 (10年 後)	平成24 年度値	次期総合計 理念	次期総合計画 新最適化条件	次期総合計画 新代表指標	変更理由	
育む	26 安心して子育てができる	子育ての悩みや不安を相談できる人がいる(いた)人の割合	61.5%	65.0%	75.0%	61.9%			輝く	同左	同左		33	
	27 自然環境に配慮する取り組みが行われている	1日あたりのごみ排出量(住民1人あたり)	883g	883g	800g	877g			活かす	同左	同左		34	
	28 文化、伝統が受け継がれている	郷土芸能団体数及び会員数	6団体 188人	6団体 200人	6団体 220人	6団体 109人			受け継ぐ	同左	同左		35	
	29 人と自然が共存している	総合的な学習における自然保護・自然体験関連実施校数	10校	13校	14校	12校			活かす	自然とふれあえる環境がある	鞍掛山登山者数	「共存」という言葉がイメージしづらいことから「ふれあい」に変更	36	
	30 文化、伝統が活かされている	郷土芸能団体数及び会員数	6団体 188人	6団体 200人	6団体 220人	6団体 109人			受け継ぐ	同左	滝沢市郷土芸能まつり参加者数	「活かされる」から「会員数」を「参加者数」へ変更	37	
									受け継ぐ	文化・芸術に親しむ機会がある	滝沢市芸術祭・郷土芸能まつり入場者数	市民の幸福一覧作成時に意見としていただいた内容	38	
									学ぶ	スポーツに親しむ機会がある	チャグスポ登録者数	市民の幸福一覧作成時に意見としていただいた内容	39	
										滝沢市の歴史を学べる機会がある	滝沢市の歴史を学べる講座等の実施回数	市民の幸福一覧作成時に意見としていただいた内容	40	
働く	31 働く場がある	事業所数(生産年齢人口1,000人あたり)	40.8所	45.0所	50.0所	43.1所			働く	同左	同左		41	
	32 農業の担い手がいる	農業後継者(販売農家)の有無の割合	60.1%	61.5%	63.5%					同左	同左	※農家台帳では後継者の有無は確認できないことから、そのまま。	42	
	33 みんなが自分のやりたい仕事ができる	事業所数(生産年齢人口1,000人あたり) 現在の仕事に満足している人の割合	40.8所 37.6%	45.0所 40.0%	50.0所 45.0%	43.1所 38.3%				同左	やりたい仕事ができていると感じている人の割合	「やりたい仕事」は主観的であることから、「感じている」とした。	43	
	34 村で作られた農産物が、広く販売されている	産地直売施設及びスーパー等での産直コーナーの箇所数			28箇所	17箇所				同左	同左		44	
	35 子育てしながらも安心して働くことができる	子育てしながらも安心して働くことができると感じている人の割合			40.0%	20.4%				同左	子育てに対する職場の理解があると感じている人の割合	企業の子育て支援をより明確に打ち出すことから変更。	45	
	36 村の特色を活かした産業がある	事業所数(生産年齢人口1,000人あたり)	40.8所	45.0所	50.0所	43.1箇所				同左	同左	IPUイノベーションセンター入居率	※学官連携によるIT産業の集積を特色と捉えたため。	46
住む	37 村に豊かな自然がたくさん残されている	豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合			86.0%	82.6%			活かす	同左	同左		47	
	38 交通安全が保たれている	交通事故(人身事故)発生件数(住民1万人あたり)	42.9件	40件	35件	24.7件			活かす	同左	同左		48	
	39 水や空気がきれいである	村内6河川8箇所平均BOD濃度 ※(注1) 窒素酸化物濃度 ※(注2)	1.35mg/l 0.028ppm	1.35mg/l 0.028ppm	1.35mg/l 0.028ppm	1.07mg/l 0.024ppm			暮らす	川の水や空気がきれいである	※水生生物(ホタル・オニヤンマ・チョウセンアカシジミ等)の生育分布による指標を検討	市民に分りやすい指標へ変更。BODなどは、基本計画レベルの指標へ	49	
	40 夜間でも安心して出歩くことができる	ここ1年で夜間の一人歩きに不安を感じたことのある人の割合	39.4%	35.0%	30.0%	32.0%			削除	削除	削除	村に犯罪が無いと重複することから廃止。		
	41 村に犯罪がない	ここ1年で犯罪にあたり、身の危険を感じたことのある人の割合	8.0%	7.0%	5.0%	8.3%			支える	同左	同左		50	
	42 急病の時に病院に行きやすい	地域の医療に安心感を持っている人の割合 いざという時に相談できるかかりつけ医がいる人の割合	39.8% 52.5%	45.0% 55.5%	50.0% 60.0%	42.2% 53.5%			暮らす	同左	地域の医療に安心感を持っている人の割合	「かかりつけ医」は別の最適化条件の指標として採用	51	
	43 交通の便がよく、移動がしやすい	滝沢村内のバスや電車は便利で利用しやすいと思う人の割合 滝沢村の道路渋滞は少ないと思う人の割合	27.1% 33.9%	30.0% 35.0%	33.0% 40.0%	32.0% 45.1%			暮らす	同左	滝沢村内のバスや電車は便利で利用しやすいと思う人の割合	「交通渋滞」は、基本計画レベルの指標へ	52	
	44 ずっと住みたいと思える村である	自分の村に愛着を持っている人の割合	72.8%	75.0%	80.0%	75.8%			暮らす	同左	同左		53	
	創る	45 地場産品を売場がある	滝沢村の地場産品をよく買っている人の割合			60.0%	60.0%			働く	地場産品が広く販売されている	同左	「販売する場所」が多くなってきたことから変更。	54
46 チャグチャグ馬コの知名度が活かされている		チャグチャグ馬コの入込客数			25千人	29,517人			受け継ぐ	同左	同左		55	
47 「滝沢らしさ」がある		他の地域にはない良さを持った村だと思える人の割合			70%	58.2%			削除	削除	削除	滝沢らしさが不明確。指標は愛着で代替可能。		